

大津小学校版学びの手引き【家庭版】

これまでの校内研での取組や各学年部の取組を、大津小全体で取り組んでいけるようまとめました。

＜授業＞45 分間の授業をフル活用しましょう。

授業のはじまりと終わりのあいさつは、休み時間と授業の切り替えにもなります。チャイムに始まり、チャイムに終わるということを教師も児童も意識できるようにしましょう。

始まりと終わりのあいさつ	・チャイム1分前には着席 ・チャイムと同時に授業を始める・終わる <u>始めのあいさつ</u> 基本的に全員座った状態であいさつをする。 日直：「気をつけ、（教室が静かになってから）お願いします。」 気をつけの姿勢 1・2年生→手は後ろで組む。 3年生以上→手はモモに置く。 全員：「お願いします。」 <u>終わりのあいさつ</u> 基本的に全員座った状態であいさつをする。 日直（2人の場合はどちらか一人）がその時間の授業の振り返りを発表する。 日直：「今日は、〇〇について学習しました。△△がわかりました。今度は□□について考えてみたいです。／〇〇さんの◇◇という考えを聴いて私は□□だと思いました。」など 「気をつけ、（教室が静かになったら）ありがとうございました。」 全員：「ありがとうございました。」				
板書について めあて まとめ ふりかえりなど	<u>めあてやまとめの書き方</u> めあて・まとめは黄色のチョークで書く。（定規等で囲まない） 児童のノートにはめあては赤、まとめは青の下線を引く。 <u>ふりかえりの視点（5分は確保する）</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>低学年（1～3年生）</th><th>高学年（4～6年）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ㊦っ！わかった（わからなかった） ㊦っ！なるほど！ （友達の考えを聴いて考えたこと・考えが変わったことなど） ㊦ 次につなげよう （次の時間に考えてみたいこと・わからなかったこと・やってみたいこと） </td><td> 「熊本の学び」の視点から選んでふりかえて書く。 ① “いいな！”と思った友達の考えは何か？ （“いいな！”の観点は、その時の学習のめあてや中心発問に対応して変わります。） ② “納得できなかったこと”や“分からなかったこと”は何か？ ③ 何ができるようになったか？ なぜ、できなかったのか？ ④ 学習の前後で自分の考えや態度がどのように変わったか？ ⑤ “新たな問い”や“課題”は何か？ ⑥ “新たな問い”や“課題”をどのように解決したいか？ ⑦ “学んだこと”や“気付き”を、生活や次の学習にどう生かすか？ ⑧ 家庭学習で何を調べてみたいか？ 熊本の学び推進プランより </td></tr> </tbody> </table> ふりかえりは毎時間行う。タブレット等を使い、ふりかえりの共有を行う。 <u>児童の発表</u> 発表をするときは、指示棒を使って児童に説明をする。（指示棒は各教室に設置）	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年）	㊦っ！わかった（わからなかった） ㊦っ！なるほど！ （友達の考えを聴いて考えたこと・考えが変わったことなど） ㊦ 次につなげよう （次の時間に考えてみたいこと・わからなかったこと・やってみたいこと）	「熊本の学び」の視点から選んでふりかえて書く。 ① “いいな！”と思った友達の考えは何か？ （“いいな！”の観点は、その時の学習のめあてや中心発問に対応して変わります。） ② “納得できなかったこと”や“分からなかったこと”は何か？ ③ 何ができるようになったか？ なぜ、できなかったのか？ ④ 学習の前後で自分の考えや態度がどのように変わったか？ ⑤ “新たな問い”や“課題”は何か？ ⑥ “新たな問い”や“課題”をどのように解決したいか？ ⑦ “学んだこと”や“気付き”を、生活や次の学習にどう生かすか？ ⑧ 家庭学習で何を調べてみたいか？ 熊本の学び推進プランより
低学年（1～3年生）	高学年（4～6年）				
㊦っ！わかった（わからなかった） ㊦っ！なるほど！ （友達の考えを聴いて考えたこと・考えが変わったことなど） ㊦ 次につなげよう （次の時間に考えてみたいこと・わからなかったこと・やってみたいこと）	「熊本の学び」の視点から選んでふりかえて書く。 ① “いいな！”と思った友達の考えは何か？ （“いいな！”の観点は、その時の学習のめあてや中心発問に対応して変わります。） ② “納得できなかったこと”や“分からなかったこと”は何か？ ③ 何ができるようになったか？ なぜ、できなかったのか？ ④ 学習の前後で自分の考えや態度がどのように変わったか？ ⑤ “新たな問い”や“課題”は何か？ ⑥ “新たな問い”や“課題”をどのように解決したいか？ ⑦ “学んだこと”や“気付き”を、生活や次の学習にどう生かすか？ ⑧ 家庭学習で何を調べてみたいか？ 熊本の学び推進プランより				

<聴き合う関係づくり・学び合いのコーディネート>

・「発表をつなげよう」カードの活用

児童に使ってほしいフレーズを黒板に貼るようにし、児童に意識づける。

・児童と共に作る反応の掲示物

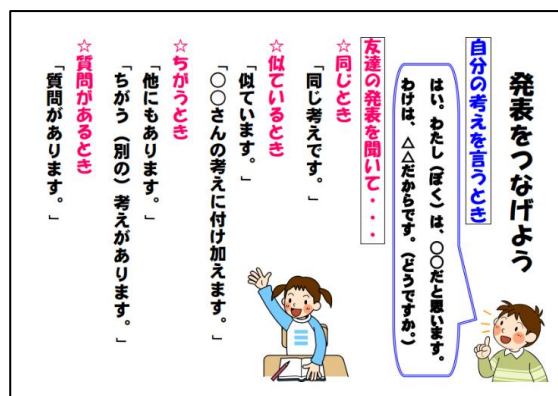
児童が使えるようになった反応フレーズは、教室横に掲示する。

・学び合いの時間の確保

1時間に3回は「ちょっと近くの人と話してみよう」と学び合いの時間を確保する。教師が解説する時間を減らす。

・問い返し

「どういうこと?」「どう思う?」「本当にそう?」「なぜ?」などの子どもの思考を促す問い返しを行う。



3～6年生用教室掲示



<学習環境>

各学年の使用ノート(令和4年度)

	国語	算数	漢字	自学	その他
1年	8マス→10マス	10マス(横)→縦	50字	プリント	
2年	12マス	14マス	84字	15mm方眼	道徳・音楽
3年	15マス	17マス	91字	12mm方眼	道徳・総合・体育
4年	5mm方眼	5mm方眼	104字	5mm方眼	道徳・総合
5年	5mm方眼	5mm方眼	104字	5mm方眼	道徳・総合・家庭科
6年	5mm方眼	5mm方眼	120字	5mm方眼	総合・学活・道徳・家庭科

※専科のノートについては省略

国語辞典の常設

わからない言葉が出てきたときに、いつでも辞書を引いて調べられる環境づくりを目指します。



机の横にバッグに入れて下げておく。

(4年生以上)

※3年生は国語辞典の学習をしてから。

1・2年生は、教室に国語辞典を1冊常設し、担任が児童に代わって辞書を引きます。

特別支援学級教室では、児童の実態に応じて、児童とともに辞書を引いたり、担任が辞書を引いたりします。

週に1回は国語辞典を活用する場面を作りましょう！

※毎年、各家庭に国語辞典の準備のお願いのプリントを配付しています。3年生には国語辞典の学習後に配付します。

<家庭学習>

家庭学習チャレンジカード	・1・2年生は<u>家庭学習の習慣づけのため</u>、家庭学習チャレンジカードを活用する。 かていがくしゅう 2しゅうかんの けいがくひょう(1ねん生) できなかった×(0ポイント)、できた○(1ポイント)、スマホ等のやくそくもポイントに入れます。 <table><thead><tr><th></th><th>かていがくしゅうで すること</th><th>○・×</th><th>おおづち ポイント</th><th>家の人のサイン (日曜)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="5">18日 (月)</td><td>プリント1まい</td><td></td><td rowspan="5">OP (達成率)</td><td rowspan="5"></td></tr><tr><td>音どく下 (P67からP71まで)</td><td></td></tr><tr><td>けいさんカード</td><td></td></tr><tr><td>かん字ノート1ページ</td><td></td></tr><tr><td>スマホ、タブレット、ゲームのやくそく</td><td></td></tr><tr><td></td><td>じゅぷりんと (よゆうのある人)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">19日 (火)</td><td>プリント1まい</td><td></td><td rowspan="5">OP</td><td rowspan="5"></td></tr><tr><td>音どく下 (P72からP74まで)</td><td></td></tr><tr><td>けいさんカード</td><td></td></tr><tr><td>かん字ノート1ページ</td><td></td></tr><tr><td>スマホ、タブレット、ゲームのやくそく</td><td></td></tr></tbody></table>		かていがくしゅうで すること	○・×	おおづち ポイント	家の人のサイン (日曜)	18日 (月)	プリント1まい		OP (達成率)		音どく下 (P67からP71まで)		けいさんカード		かん字ノート1ページ		スマホ、タブレット、ゲームのやくそく			じゅぷりんと (よゆうのある人)				19日 (火)	プリント1まい		OP		音どく下 (P72からP74まで)		けいさんカード		かん字ノート1ページ		スマホ、タブレット、ゲームのやくそく	
	かていがくしゅうで すること	○・×	おおづち ポイント	家の人のサイン (日曜)																																	
18日 (月)	プリント1まい		OP (達成率)																																		
	音どく下 (P67からP71まで)																																				
	けいさんカード																																				
	かん字ノート1ページ																																				
	スマホ、タブレット、ゲームのやくそく																																				
	じゅぷりんと (よゆうのある人)																																				
19日 (火)	プリント1まい		OP																																		
	音どく下 (P72からP74まで)																																				
	けいさんカード																																				
	かん字ノート1ページ																																				
	スマホ、タブレット、ゲームのやくそく																																				
計画的に取り組む	・家庭学習を始める時刻、取り組む順番を決めて取り組む。 ・自主学習の内容に見通しを持って取り組む。 例：テストがあるから、○曜日はまとめをする など																																				
自主学習	<形式> ノートに必ず、日付・めあて・ふりかえりを書く。 <開始時期・頻度> 1年・・・後期からスタート 2年・・・4月にノートを活用してスタート 後期からは週末に全員1ページはする。 3・4年・・・毎週末見開き1ページ／余裕のある人は平日も行う 5・6年・・・毎日1ページ 各学年が決めた目標(ノート1冊・10ページなど)に到達したときには、校長先生のもとに持っていく。 全校で自学ノート持参数累計1000人を目指す。																																				

<学習用タブレット>

タイピングスキル	目標 5分間で入力する文字数					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			100 文字	150 文字	200 文字	250 文字
文字の入力方法	1年・・・ロイロノート等のふせんに手書きで書ける 2年・・・手書き→手書き入力 3年・・・手書き入力 (ローマ字学習後、ローマ字入力のタイピング練習開始) 4年・・・手書き入力→ローマ字入力 高学年・・・ローマ字入力					
タブレット活用スキル	できるようになっておいてほしいこと					
	1年	タブレットを立ち上げる。 ログイン・ログアウトする。 QRコードをカメラにかざす。 写真を撮る。録音をする。 ロイロノートの提出箱に提出する。				
	2年	必要な学習支援アプリを立ち上げる。 ロイロノートでふせんに書く。 複数の提出物をまとめて提出する。 Web アンケートに選択式で答える。				
	3年	ロイロノートのウェブカードからサイトにアクセスする。 短い文章を打ち込む。 ふせんと写真を組み合わせて提出する。 Web アンケートを選択式と短文で答える。				
	4年	タブレットのログインをキーボードで打ち込む。 ロイロノートで新規作成したノートに名前を入力する。 自分の考えをタイピングで文章にする。 Web アンケートを選択式と考えを文章にして答える。				
	5年	スプレッドシートに入力する。 ファイルをドライブに保存する・取り出す。 児童同士でロイロノートを使って学習する。				
	6年	学習のまとめのスライドを作成する。 ブラウザで検索して必要な情報を判断し、調べ学習をする。 学習支援アプリ内で情報を発信する。 ファイルをドライブに保存し、共有する。				

タブレット使用のルール

- タブレットは大津町のものです。粗末に扱ったり、放置したりせず、正しく丁寧に使います。(ACアダプタも大切に保管します。)
- 学校または家庭学習で使います。(それ以外の場所では、先生の許可なく使いません。)
- 設定を勝手に変えません。
- 不適切なサイトにはアクセスしません。(フィルタリングは導入しています。)
- インターネット上のファイルには危険なものがあるので、むやみにダウンロードをしません。
- 故障や破損があれば、先生やおうちの人にすぐ報告します。